



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール
0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9 : 00 ~ 午後 5 : 30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。

1 609 92A 82L (2023.02)



1 609 92A 82L

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お問い合わせになった販売店または弊社までお問い合わせください。

レーザー距離計 GLM 30-23



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



目次

● 安全上のご注意	2
警告表示の区分	2
記号について	7
● 本製品について	8
用 途	8
各部の名称	9
仕 様	12
標準付属品	14
別売アクセサリ	15
● 使い方	16
作業前の準備をする	16
作業する	18
レーザー距離計の精度チェック	26
● お手入れと保管	27
お手入れと保管	27
廃 棄	28
● 困ったときは	29
故障かな?と思ったら	29
修理を依頼するときは	31

安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警 告

● レーザー光を直接のぞいたり、人や動物に向けたりしないでください。

- ◆ 本機はレーザークラス2 (EN60825-1 準拠) のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

● 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。

● 取扱説明書およびボッシュプロ製品カタログに記載されている付属品やアクセサリー以外は使用しないでください。

● レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。

- ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。

● レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。

◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。

● 本機を分解・改造しないでください。

● 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。

◆ 爆発の危険性のある環境(可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所)では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。

● レーザー光が他人や自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。

◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

● レーザー光が自分の目に当たったときは、すぐに目を閉じ、レーザー光から顔を背けてください。

◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

- 電源を“入”にしたまま放置しないでください。
 - ◆レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
- 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
- 本機を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。
- 本機を極度に高温または低温になる場所や、急激な温度変化のある場所では、使用しないでください。
- 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。



注 意

●使用前に、本機に損傷がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

●無理な姿勢で作業しないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

●子供を近づけないでください。

- ◆ 目の届かない場所で子供に本機を使用させないでください。

●使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。

●点検は、必ずお買い求めの販売店、または
ボッシュ電動工具サービスセンター
にお申し付けください。

◆ 点検の知識や技術のない方が点検すると、十
分な性能を発揮しないだけでなく、事故や
けがの原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してくだ
さい。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して本機を使用してくだ
さい。

	直流
	使用する前に、取扱説明書を全て お読みください
	レーザー放射警告表示

本製品について

用 途

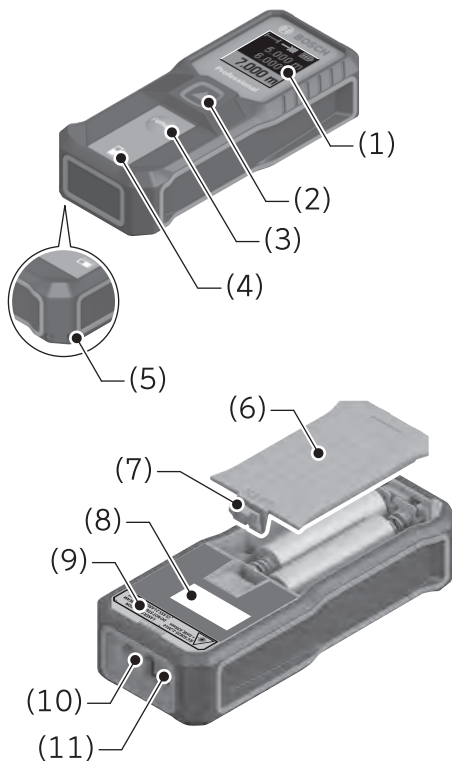
◆ 距離測定、長さ測定、高さ測定、面積測定

※ 屋内使用に適しています。

各部の名称

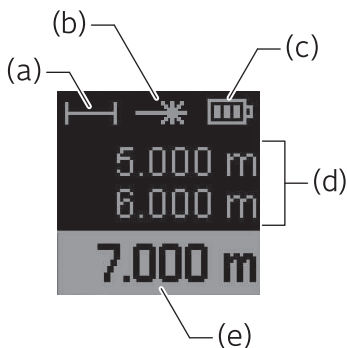
- (1)ディスプレイ
 - (2)測定/電源ボタン
 - (3)機能 (Func) ボタン
 - (4)測定基準点表示 (後方端部)
 - (5)ストラップ取り付け穴
 - (6)電池収納カバー
 - (7)電池収納カバーロック
 - (8)シリアル番号
 - (9)レーザー警告ラベル
 - (10)レーザー出力部
 - (11)受光レンズ
-
- (a)測定モード表示
 - (b)レーザー光照射表示
 - (c)電池残量表示
 - (d)測定値表示
 - (e)測定結果表示

本 体



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

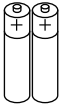
型 番	GLM 30-23
測定可能範囲	
距離測定 (標準) *1	0.15 ~ 30m
距離測定 (測定に不利な環境下) *2	0.15 ~ 10m
測定精度	
距離測定 (標準) *1	±1.5mm
距離測定 (測定に不利な環境下) *2	±3.0mm
最小測定単位	1.0mm
測定基準点	後方端部
測定時間	約0.5 ~ 4.2秒
作業可能周囲温度範囲	-10 ~ +45℃
保管可能周囲温度範囲	-20 ~ +70℃
最大相対湿度	90%
使用可能標高	2000m (最高)
汚染度*3	2
レーザークラス	クラス2
レーザーの種類	635nm、<1mW
レーザービーム拡がり角	<1.5mrad (全角)
自動電源オフ (測定を行わなかった場合)	約5分
質 量	0.09kg
寸 法 (長さ×幅×高さ)	100×43×24mm
測定単位	m/cm
電 源	単4形アルカリ乾電池2本 充電式ニッケル水素単4形電池2本

- *1 弱い逆光、使用温度20℃のとき、後方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、 $\pm 0.05\text{mm/m}$ を増減します。
- *2 強い逆光、使用温度20℃のとき、後方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、 $\pm 0.15\text{mm/m}$ を増減します。
- *3 非導電性の汚染は発生するが、たまたま結露によって一時的に導電性が引き起こされることが予想されます。(IEC61010-1)

お客様のレーザー距離計のシリアル番号は、銘板に記載されています。

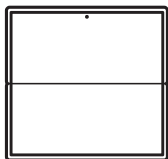
(9ページ「各部の名称」参照)

標準付属品

型 番	GLM 30-23
 単4形アルカリ乾電池 (テスト用)	2本

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

別売アクセサリ



レーザーターゲットプレート



レーザーメガネ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする

● 電池を取り付ける・取り外す

取り付け

1. 電池収納カバーロック(7)を押し、電池収納カバー(6)を取り外します。
2. 電池収納部の表示に従い、電池の向きに注意して、電池を取り付けます。
 - ☞ 電池を交換するときは、電池を2本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
 - ☞ 付属されている電池は作動テスト用です。
3. 電池収納カバー(6)のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー(6)を上から押し込んで取り付けます。
 - ☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。
 - ☞ 電池残量表示cが□□になってから、数回測定ができます。
 - ☞ 電池残量表示cの□□が赤く点滅したら、測定できません。電池を交換してください。

取り外し

1. 電池収納カバーロック(7)を押し、電池収納カバー(6)を取り外します。
2. 電池を取り外します。
3. 電池収納カバー(6)のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー(6)を上から押し込んで取り付けます。

作業する



- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。



- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

 測定するときは、受光レンズ(11)、およびレーザー出力部(10)に何も被さっていないことを確認してください。

 測定中は本機を動かさないでください。(連続モードは除く)

このため、本機はできるだけ測定点上に当てるようにしてください。

 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。

 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影を当てるとレーザー光が見やすくなります。

 透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。

同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。

 レーザー光を照射したまま、本機から離れないでください。

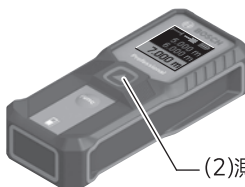
① 電源を入れる

スイッチの入/切

入: 「測定/電源ボタン(2) 」を押します。

 電源を入れたときは、ディスプレイ(1)にメイン画面が表示されます。

切: 「測定/電源ボタン(2) 」を長押しします。



(2)測定/電源ボタン

② 測定単位を設定する

測定する長さの単位を設定します。

測定単位は“m”と“cm”から選択できます。

1. 「機能 (Func) ボタン(3)」を長押しして、測定単位設定画面に切り替えます。

2. 「機能 (Func) ボタン(3)」を押して、設定したい単位を選択します。

3. 「測定/電源ボタン(2) 」を押して選択を確定します。



3 測定モードを選択する

測定モードは、下記から選択できます。



⇄ 距離測定モード

⇄ 連続測定モード

□ 面積測定モード

任意の測定モードに設定した場合、電源を入れ直しても、設定した測定モードのままになります。

1. 「機能 (Func) ボタン(3)」を押して、測定モード設定画面に切り替えます。
2. 「機能 (Func) ボタン(3)」を押して、設定したい測定モードを選択します。
3. 「測定/電源ボタン(2) (⏻)」を押して選択を確定します。

4 測定する



警告

- ◆ レーザー出力部(10)が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

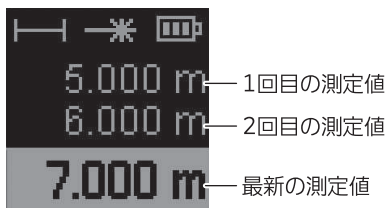
距離を測定する H

距離を求めます。

1. 「測定/電源ボタン(2) 
」を押して、レーザー光を照射させます。2. 基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
3. 「測定/電源ボタン(2) 
」を押して測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、測定値がディスプレイ(1)の測定結果表示eに表示されます。

測定を繰り返し続けると、測定結果表示eに最新の測定結果が表示され、測定値表示dに過去の測定値が表示されます。



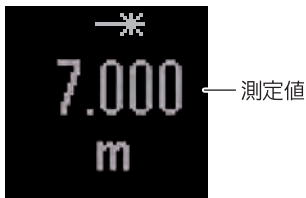
連続測定する

照準点を基準に本機を移動させながら、連続して距離を測定します。

連続測定モードでは、約4分間何も操作しないと電源が切れます。

1. 「測定/電源ボタン(2) 
」を押して、レーザー光を照射させます。2. 基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

ディスプレイ(1)の測定結果表示eに希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。



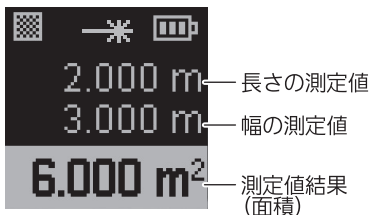
-  連続測定を中断したいときは、「測定/電源ボタン(2) 」を押してください。
- レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ(1)に表示されます。
- 再度、「測定/電源ボタン(2) 」を押すと、連続測定を新たに開始します。

面積を測定する □

長さと幅を測定して面積を求めます。

1. 「測定/電源ボタン(2) 
」を押して、レーザー光を照射させます。2. 基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定/電源ボタン(2) 
」を押して長さを測定します。
測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ(1)の測定値表示c上段に表示されます。4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定/電源ボタン(2) 
」を押して幅を測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ(1)の測定値表示d下段に表示されます。面積の測定値はディスプレイ(1)の測定結果表示eに表示されます。



レーザー距離計の精度チェック

● 距離測定の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

☞ 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない屋内の場所で、1～10m程度の距離を決めます。(例えば、室内幅やドアの開孔口など)
対象物の表面は平坦で、レーザー光がよく反射するものにします。
2. 1項で決めた距離を、10回続けて測定します。
測定値の許容誤差は、 $\pm 2\text{mm}$ 以下です。

お手入れと保管

お手入れと保管

- レーザー距離計を保管・運搬する際には、ボツシュ純正品(別売品)のキャリングバックに収納いただくことを推奨します。
- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ(11)は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほごりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

廃 棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
ERROR が表示される	測定対象物から適切な反射が得られない(水面、ガラス、黒い布など)、または周辺光が明るすぎる	レーザーターゲットプレート(別売アクセサリ)を使用する
	レーザー出力部(10)または受光レンズ(11)が曇っている	やわらかい布でレーザー出力部(10)または受光レンズ(11)を拭く

症 状	原 因	対 処
測定結果が不正確である	測定対象物から適切な反射が得られない (水面、ガラス、黒い布など)	照準対称面に何らかの覆いをする
	レーザー出力部(10)または受光レンズ(11)に何かが被さっている	レーザー出力部(10)または受光レンズ(11)を覆っている障害物を取り除く

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、
TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできません
のでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813

埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104

福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

プロ用電動工具・メジャーリングツール 保証サービス『PRO360』のご案内

弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

(各プロ用メジャーリングツールの基本保証期間が2年に延長となります)

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>